

部局名	安全環境部	所属名	環境保全課	所属長名	鈴木 恵佐夫	電話	483-1151 内線3210
-----	-------	-----	-------	------	--------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3679	事務事業名称	大気環境対策事業				短縮コード	経常	3679	臨時	3680	
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	公害対策費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		大気汚染防止法, 悪臭防止法, 八千代市公害防止条例							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<p>○昭和47年に八千代市公害防止条例が制定されたことに伴い, 昭和48年から一般大気測定局を設置し, 測定を開始した。現在では, 大気汚染測定局における大気環境の監視や光化学スモッグ注意報等の発令時・解除時の情報伝達, 大気中のダイオキシン類調査などの一般環境監視調査及び市内における大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設のばい煙測定調査を実施している。</p> <p>○本市における臭気規制は, 平成18年8月より市内全域を対象に臭気指数規制に移行し, より人間の感覚に近い規制基準での対応ができるようになった。苦情に基づく悪臭発生源立入調査や事業所の臭気濃度調査を実施し, 発生源に対し悪臭防止対策を指導している。</p>												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	03	第3章環境共生都市をめざして					
<p>○市内の大気環境は, 法規制の強化や技術の進歩に伴い, 以前と比べ良好の傾向が見られる。ただし, 光化学オキシダントは, 依然として環境基準未達成の状況が続いており, 更なる対策が必要である。また, 平成21年9月より新たに, 微小粒子状物質 (PM2.5) に対し, 環境基準が設定された。</p> <p>○近年では, 市街化調整区域での小規模な宅地造成が多く見られ, 住宅地と農地, 工場等が近接している。このことにより, 市街化調整区域に居住する市民から農地での野焼きや工場からの排出ガス等について苦情が寄せられている。今後も, より快適な環境を求める意識の高まりにより, 悪臭対策への要望は一層強くなると思われる。</p> <p>○平成23年3月1日に発生した東日本大震災による福島第1原子力発電所の事故に伴い, 関東近郊にも放射性物質が放出され, 本市においても放射性物質の影響が出ている。</p>					大項目(節)	01	第1節環境との共生・保全					
					中項目	01	1. 生活環境					
					小項目	01	(1)環境保全対策の推進					
						02	(2)環境監視の充実					
					細項目	01	①環境保全計画の推進					
				01		①環境状況調査						
実施計画の計画事業												
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	・大気環境 ・大気汚染 (悪臭を含む) を発生させる事業者・市民など							
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	<p>※平成23年度に実際に行ったこと:</p> <p>1. 一般環境監視調査 (①大気汚染測定局における大気環境監視, ②大気中のダイオキシン類調査, ③光化学スモッグ発令時の情報伝達)</p> <p>2. 発生源監視調査 (①事業所ばい煙測定調査, ②事業所臭気濃度調査)</p> <p>3. 苦情に基づく大気・悪臭発生源立ち入り調査・防止対策指導</p> <p>4. 福島原子力発電所から放出された放射性物質の影響調査等 (①空間放射線量測定, ②市民への空間放射線量測定器の貸出し, ③苦情対応)</p> <p>※平成24年度に計画していること:</p> <p>上記1～4の調査等を引き続き実施する。</p>							
意図 (何を狙っているのか)	大気汚染 (悪臭を含む) を未然に防止し, 良好な大気環境を保全する。							
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外							
区分	指標	内容	単位	22年度		23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市内全域	km ²	51.27	51.27	51.27	51.27	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	大気汚染測定局における大気環境監視日数	日	365	366	366	365	
	指標2	ばい煙・臭気濃度測定調査の立ち入り事業場数	事業場	9	9	9	9	
	指標3	苦情受付件数	件	80	0	101	0	
成果指標	指標1	環境基準 (大気) の達成度	%	75	92	75	100	
	指標2	調査事業場の排出基準等 (大気・臭気) 適合率	%	78	100	89	100	
	指標3	苦情処理件数	件	80	0	101	0	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3679	事務事業名称	大気環境対策事業			所属名	環境保全課	
	単位	22年度		23年度		24年度		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	5,067	5,206	7,826	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
主な事業費の内訳		1. ばい煙測定調査・・・315千円 2. 大気汚染測定局維持管理・・・2,625千円 3. 大気汚染緊急時対策・・・175千円 4. 事業所臭気指数調査・・・189千円 5. 大気中のダイオキシン類調査・・・1,422千円		1. ばい煙測定調査・・・315千円 2. 大気汚染測定局維持管理・・・2,730千円 3. 大気汚染緊急時対策・・・232千円 4. 事業所臭気指数調査・・・210千円 5. 大気中のダイオキシン類調査・・・1,718千円		1. ばい煙測定調査・・・292千円 2. 大気汚染測定局維持管理・・・2,625千円 3. 大気汚染緊急時対策・・・98千円 4. 事業所臭気指数調査・・・179千円 5. 大気中のダイオキシン類調査・・・1,313千円 6. 空間放射線量測定委託・・・168千円 7. 空間		平成24年度から新規事業として組替えたため。
人件費 (B)		千円	7,997.7	8,876.7	20,338.7	0		
トータルコスト (A)+(B)		千円	13,064.7	14,082.7	28,164.7	0		

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由	
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	事業目的の大気汚染の未然防止と大気環境の保全是、上位施策である第4次総合計画の「環境保全対策の推進」及び「環境監視の充実」に結びついている。	
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある		
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	悪臭については、感覚公害であるため、規制基準の有無や基準の達成如何にかかわらず苦情が寄せられ、理解を得ることが難しい。また、発生原因者に対策指導を行った場合でも、経済的理由等から対策が取れないこともある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	当該事務事業は、法律、条例に基づき、発生源の監視、指導、対策を行うものであり、その事業目的・内容は公共性・非営利性が高く民営化になじまない。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	本事業では、大気汚染の未然防止や大気環境の保全是を意図し、大気環境状況の把握や大気汚染の発生源（事業所や市民生活）に対する指導を行うことから、対象（大気環境や大気汚染の発生源）及び意図は現状のままでよい。	
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 可能性がない		
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	放射性物質の対応のうち空間放射線量測定については、測定日程の調整と測定データの公表・整理が主な内容であるため、データ整理に秀でた臨時的任用職員を採用することによって、測定箇所数の増加や測定データの有効な活用等につながり、業務の質や量を向上させる可能性がある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用		
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し	類似事務事業名称	1	実施主体 (所管部署)
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し		2	実施主体 (所管部署)
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し			
	<input type="checkbox"/> 上記以外の方法			
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある	臨時的任用職員の賃金や測定機器の維持管理費等の費用が増加する。しかし、放射線量測定に対する市民のニーズがあり、簡易型放射線量計の貸出しでも毎日ほぼ予約で埋まっているため、放射性物質に対する経費の増加について市民の理解は得られると考える。		
	<input type="checkbox"/> ない			

コード	3679	事務事業名称	大気環境対策事業			所属名	環境保全課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			福島第1原子力発電所の事故に伴い発生した放射性物質による影響を心配する声が多く寄せられており、市でも緊急的に空間放射線量測定を実施した。今後も、継続的に測定していくことが求められているため、人件費や測定機器の維持管理等の費用が増加する。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	福島第1原子力発電所の事故に伴い発生した放射性物質による影響を心配する声が多く寄せられており、市でも緊急的に空間放射線量測定を実施した。今後も、継続的に測定していくことが求められているため、人件費や測定機器の維持管理等の費用が増加する。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>○公害に関する市民からの苦情では、悪臭に関するものが最も多く、とりわけ野焼きに伴う悪臭苦情が多く寄せられている。</p> <p>○福島第1原子力発電所の事故に伴う放射性物質の飛散に対しては、市民及び職員からこの放射性物質の影響を心配する問い合わせが多く寄せられるとともに、放射線量の測定を要望された。</p>	

所属長コメント	<p>大気汚染は広域で原因も錯綜していることから、一市の対応では限界があるが、大気汚染の未然防止と良好な大気環境の保全のため、本事業は今後も継続する必要がある。</p> <p>また、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質については、今後数年間は継続して空間放射線量をモニタリングして行く必要がある。</p>		
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	空間放射線量測定の実施等への臨時的任用職員の活用については、費用対効果を検証したうえで推進すること。	